

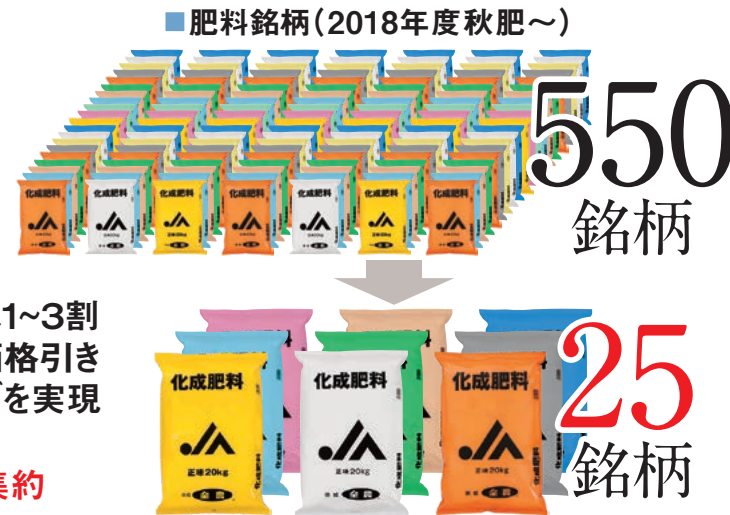
肥料 | 新たな共同購入運動の取り組み

- 取り組み目標
- 銘柄を集約
 - 生産者の事前予約注文の積み上げ
 - 予約数量をもとに、入札等により最も有利な価格・工場を決定

- 進捗状況
- ✓ 2017年度春肥～
高度化成・NK化成肥料の一般銘柄は**全国400銘柄を17銘柄に集約**
集約前の実績をカバーする**7万トンの予約数量**を積み上げ
 - ✓ 2017年度春肥では
1銘柄当たりの生産量を約250トンから4000トンに拡大し製造固定費削減
供給範囲を全国一律からブロック単位に変更し、配送コスト削減
 - ✓ 2018年度秋肥～
普通化成一般・苦土入り高度化成に対象を拡大

概ね1~3割の価格引き下げを実現

全国550銘柄を25銘柄に集約



農薬 | 担い手直送規格やジェネリック農薬を推進

- 取り組み目標
- 農薬「担い手直送規格」の取り扱い強化
 - 水稻除草剤を中心に品目集約
 - ジェネリック農薬の開発と登録促進

- 進捗状況
- ✓ 農薬担い手直送規格は、通常規格と比較し概ね2~3割の価格引き下げを実現
2016年度実績の2.1万袋から大幅に伸長し、**17年度は5.3万袋に拡大** 18年度は8万袋を計画
 - ✓ 水稻除草剤は2017年度に約100品目削減し、340品目へ集約
 - ✓ ジェネリック農薬は、開発候補剤を絞り込み、1剤目の開発に着手

